



エコアクション21
認証・登録番号 0006252

環境活動のまとめ

OSAKA PALCOOP ECO REPORT 2016

この報告書は2015年度の方針にそった
主な環境活動についてまとめたものです

 生活協同組合 おおさかパルcoop



●●● 「環境活動のまとめ」発行にあたって

2015年12月12日、フランス・パリで開催されていたCOP21(国連気候変動枠組条約第21回締約国会議)で2020年以降の温暖化対策の国際枠組み「パリ協定」が採択されました。これは1997年に採択された京都議定書を超える、新たな法的拘束力をもつ合意です。世界が、化石燃料依存の社会から脱却する方向性を示したものです。

かけがえのない地球で生活する私たちは、地球規模の環境破壊に対して、残された時間が少ないことを自覚し、生活協同組合の社会的な役割として、組合員さん・職員が、環境に配慮した暮らしを一層進めることと、事業活動にともなう環境負荷を最小限にとどめる活動に積極的に取り組んでいかなければなりません。

今年度は子会社である「(株)おおさか協同物流センター(枚方市招提)」の太陽光発電設備が2015年6月に稼働、2015年11月に開店した粉浜店(大阪市住之江区粉浜)では出来る限りの環境配慮を行いました。また、新たに大阪市内の店舗で食品のリサイクルをスタートさせました。

今後も、わたしたちに出来ることを一歩ずつ確実に進めていこうと考えています。

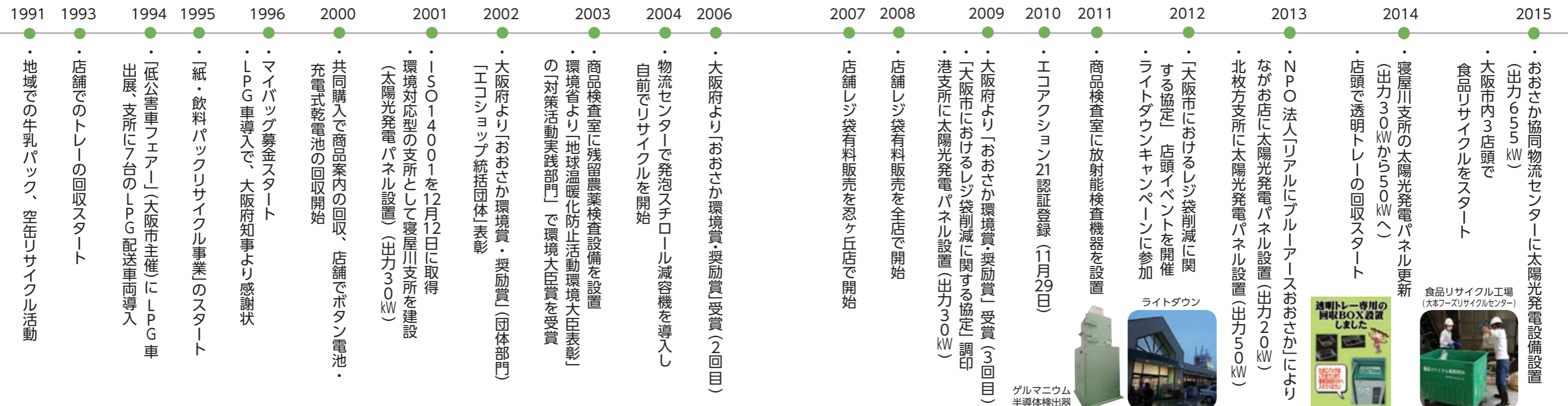
「子どもたち・未来のために、美しい地球のために」

子どもたちに自然環境のすばらしさを伝えていくことは、大人としての課題です。未来を生きる子どもたちに美しい地球を渡せるよう、生協として地球温暖化防止の社会的責任を積極的に果たし、事業と活動をすすめていきましょう。

2016年5月 環境マネジメント推進委員会



これまでの主なあゆみ





環境マネジメントシステムを活用して 事業をすすめています

環境方針

基本理念

おおさかパルコープは、持続可能な循環型社会の実現を目指し、環境問題を重要な課題と位置付け、組合員とともに環境保全活動に積極的に取り組みます。

基本方針

おおさかパルコープは、組合員を対象とした食料品など生活関連の商品供給事業及び共済、福祉事業や旅行、チケット、暮らし関連などのサービス事業を行っています。こうした事業活動から発生する環境に大きな影響を及ぼす項目について、技術的かつ経済的に可能な範囲で環境目標、環境活動計画を定めて取り組み、環境負荷の軽減と汚染の予防、生物多様性の保全への配慮、環境マネジメントシステムの継続的な改善を行います。

- 環境に配慮した商品やサービスの取扱いと普及をすすめます。
- 地球温暖化防止のために、CO₂ 排出量削減に取り組みます。
 - パルコープで使われる機器について、積極的に省エネルギー機器導入に取り組みます。
 - 電気、ガスの使用量削減に取り組みます。
 - 配送効率の向上や運転技術の向上で車両燃料の削減に取り組みます。
- 廃棄物の削減、リサイクルに取り組みます。
 - 紙を効率的に使用し、使用量削減とリサイクルに取り組みます。
 - 店舗では食品廃棄ロス基準を守り廃棄物の再生利用等に取り組みます。
 - 組合員とともに、容器包装、商品案内などの回収リサイクルや、買い物袋持参に取り組みます。
- 資源の有効活用、節水に取り組むとともに、グリーン購入に努めます。
- 検査室で商品検査に使用する化学物質の適正管理推進のために、定期的に使用量確認を行います。
- 環境関連の法令、条例及び受け入れを決めたその他の要求事項を遵守します。
- 組合員による環境活動を積極的に支援し、持続的発展を可能とする循環型社会構築に向けた社会的活動に広範に取り組みます。
- 以上の活動を進めるために、職員に対する環境教育と環境コミュニケーションを積極的にすすめます。

この環境方針はおおさかパルコープの内外に公開するとともに、環境活動の取り組みの状況について定期的に公表します。

2001年7月21日制定
2014年10月16日改定
生活協同組合おおさかパルコープ

理事長 

事業活動にともなう環境負荷を最小限にとどめることに継続的に取り組むために、環境省が定めた環境マネジメントシステム「エコアクション21」を活用しています。




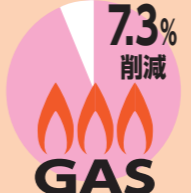



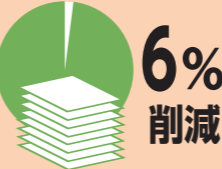


毎年、資格を持った外部審査人の審査を受けます。2015年度は中間審査で、10月に3日間、各事業所の審査を受けました。環境への取り組みが評価され「**適合**」の結果でした。



2015年度 主な環境目標の実績と評価



事業所や部署ごとに、今年は32項目の目標を持ちました。
毎年目標の見直しを行いながら部署や事業毎に取り組みを継続しています。

主な環境目標	活動と評価
【省エネ活動】 電気使用量	 前年対比 103.5%
ガス使用量	 7.3% 削減 前年対比 92.7%
水道使用量	 前年対比 104.2%
ハート栽培 農産物の 取り扱い	 108品目
使用 薬品の 管理	 健康管理・ 事故防止
紙 使用量の 削減	 6% 削減 前年対比 94%
車両燃料 使用量の 抑制	 安全運転 + エコドライブ 燃料使用量 前年対比 102.9% 車両台数 前年対比 108.3%
グリーン 購入の 推進	 グリーン購入比率 55.8%

今年度は粉浜店の開店などがあり、全体では使用量が増加しました。その中でも空調でガスを使う本部の設備改善でガスの使用量は削減が進みました。次年度へ向け日常的な取り組み強化で、省エネに努めます。

ハート栽培農産物は使用農薬の削減と共に、産地の環境保全につながります。人と生き物や環境にやさしい農業の取り組みです。

検査室では16,964件の検査が行われました。検査員の健康管理、事故防止を目的に使用薬品の管理をしています。

情報の携帯端末での管理や日常的な取り組みで事業所での使用量は削減されました。

車両台数は前年対比108.3%と伸長しましたが、燃料使用量は102.9%に抑えることが出来ました。日常的な配送コースの改善や、事故防止とあわせてエコドライブに取り組んでいます。

※グリーン購入：製品やサービスを購入する際に、環境を考慮して、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入することです。

比率で55.8%と前年対比で7.6ポイント低下しました。文房具や事務機器などを中心に環境に配慮した取り扱いを強化します。

地球温暖化防止のためCO₂ 排出量削減の取り組みをすすめています

2015年度CO₂排出量は、11,395トンとなりました。2014年度対比で101.9%となり、原単位では20.3トンとなりました。

※原単位：CO₂排出量を供給金額で割り算して、CO₂排出量を算出し、削減に取り組む方式です。

毎年、設備改善と運用管理の強化で排出量削減に取り組んでいます。多くのCO₂を排出する事業者の社会的責任として、これからも削減の取り組みを積極的に進めていきます。

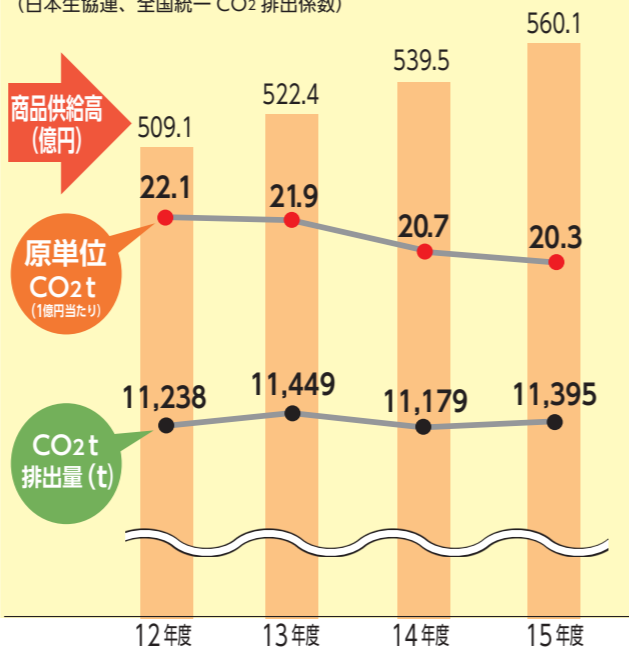
全国生協のCO₂ 排出総量削減目標

2020年に
2005年度比で**15%削減**

日本生活協同組合連合会ではCO₂排出量の総量削減を進めるために、全国の生協と協力して「温室効果ガス総量削減長期計画」を進めています。2020年度に、生協全体のCO₂排出量を「2005年度対比で15%削減」を目標としています。パルコでもデータ提供し、総量削減の取り組みを進めています。

CO₂ 排出量の抑制経年の推移と評価

電気使用CO₂排出係数：0.423kg-CO₂/kWh
(日本生協連、全国統一CO₂排出係数)



今年度
パルコへの
CO₂ 排出総量※
11,395t

エコドライブに取り組んでいます

配送箇所が多くなると、それに合わせて配送車両の燃料使用は多くなります。そこで安全運転にもつながるエコドライブに取り組んでいます。「急発進や急ブレーキなど急のつく運転はしない」「アイドリングストップ」など、細かな対応を行っています。

職員が環境目標として進めています

エコドライブ 車両燃料やCO₂等の排気ガスの排出削減ができます。

+ 安全運転



制限速度を守り、急発進、急ブレーキなど「急」のつく運転はしない。
駐車時はアイドリングストップなど環境に配慮した運転をする。等

太陽光発電設備について

年間発電量は合計144,426kWhになり、CO₂の排出量で61.1トンの削減につながっています。港支所は発電された電気のほとんどを支所で使っていますが、寝屋川・北枚方支所は電力買取制度を活用し、全量関西電力に販売しています。当初計画を上回る発電量で推移し、設備投資の回収も順調に進んでいます。

太陽光発電設備

北枚方支所	50kW
寝屋川支所	50kW
港支所	30kW
(物流センター)	655kW

年間発電量
144,426 kWh

CO₂ 排出量の削減効果
61.1 トン分

(物流センター含む / 年間発電量 647,262kWh 273.8 トン分の削減効果)
(電気使用CO₂排出係数：0.423kg-CO₂/kWh)

寝屋川支所 (配送センター) 太陽光発電設備



●●● 全事業所で省エネに取り組んでいます

共同購入・各事業所での取り組み

設備改善を継続しています

- 北枚方支所、寝屋川支所の空調を最新の省エネタイプに変更しました。電力使用量が前年比87%、64,189kWhの削減につながりました。
- 本部の空調に使われているのは都市ガスです。2014年11月に更新を行いました。その後1年間の使用量は前年比82.4%と大幅な削減になりました。



本部都市ガス空調機

今年も事業所の空調室外機に事前の遮光工事を行いました

- 直射日光が長時間当たる店舗、配送センター7ヶ所に設置しました。電力使用量が10%の削減効果があるとされています。

遮光設備の設置で
電力使用量
10%削減効果

南寝屋川支所



つるみ店



ながお店

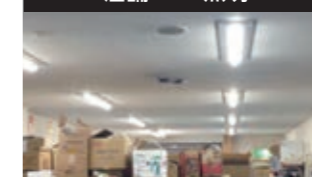


店舗での取り組み

この数年間の改装では、積極的に省エネ対応を行いました。

LED照明の導入、可能なところから冷蔵・冷凍庫を省エネタイプにするなど消費電力削減を進めました。床も光沢のあるセラミックタイルを導入することで、洗浄時に使う薬剤を減らすとともに、光を反射させることで効果的に店内の明るさが確保されます。

店舗 LED 照明



扉付きの冷凍食品ショーケース (東中浜店)



新店舗、粉浜店では

11月にオープンした粉浜店は、これまでの経験を活かし、買い物がしやすい店づくりと環境配慮を進めました。店内はショーケースを含めLED照明を採用、トイレには人感センサー感知照明、省エネ型の冷凍冷蔵庫で環境対応型フロンガスを使用。床には、セラミックタイルを導入しました。トータルで**15項目の環境配慮を行いました。**

粉浜店



環境に配慮した商品の取り扱い、3Rで資源の有効活用に取り組みます

Reduce リデュース
ゴミを出さない、作らない

Reuse リユース
そのまま再使用する

Recycle リサイクル
再生し利用する

(共同購入)
コープの
エコマーク商品



コアノンロールは100%再生紙を使用。一般的なトイレルロールの紙芯は1個約5g、紙芯24個で一般的なトイレルロール1個分に相当します。紙芯がないコアノンロールは紙資源の有効利用とゴミの削減に貢献します。

(店舗)
鮮度と美味しさ！
あわせて環境へも
配慮しています



店舗では近郊産地農産品や地場商品の品揃え、簡易包装、バイキング形式での提供で包材を削減するなど。「鮮度とおいしさ、正直で人間味のある店」にくわえ、環境への配慮も各店で出来ることを考え取り組んでいます。



パルコープ
のお店では



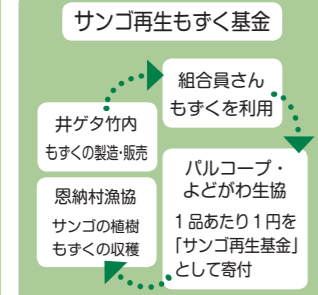
パルコープのお店では容器包装を資源として有効活用することを目的に、1990年代から発泡スチロールトレイ（2014年5月「透明トレイ」の回収開始）やペットボトル、2000年に入ってから卵パック、ビン、缶のリサイクル回収もスタートしました。枚方にある店舗では行政からの要請で、小型家電の回収BOXも設置しました。

商品案内はリサイクルされ新聞紙などの原料になっています。今年度は4,380トンの回収で、回収率62%でした。捨てればゴミになりますが、リサイクルすれば資源となります。引き続き回収にご協力下さい。



もずくを食べてサンゴが育つ海づくり
サンゴ再生もずく基金

サンゴ 今年度植樹 約 90 本



~サンゴ再生もずく基金・ココラボ~
「恩納村産 味付糸もずく」

産地、メーカー、生協、組合員が手をつなぎ、もずくの育つ里海を守る取り組みです。

今年も昨年の101本に引き続き、約90本のサンゴが植樹されることになりました。



3Rで資源の有効活用をすすめています

リデュース・リユース・リサイクルにご協力下さい

事業活動に伴って排出される容器包装のリサイクルに取り組んでいます。回収、再資源化しやすいよう、洗う、開く、乾かす、つぶす、重ねるなど、それぞれの回収方法を守り、リサイクルにご協力頂いています。

共同購入の
配達では

Reuse
リユース

毎週 リユース
発泡スチロール箱
262,600
箱



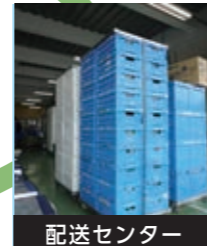
毎週 リユース
プラスチック製コンテナ
245,900
箱



ご注文頂いた商品は物流センターで個人別に仕分けられ、温度別に管理し、冷蔵管理品は発泡スチロールの箱に、常温管理品はブルーのプラスチック製コンテナでお届けされています。各々使われる箱は使い捨てではなく、その都度回収、品質確認しリユースされています。また、使えなくなったものはプラスチック原料としてリサイクルしています。



配送車内部



配送センター

リサイクル 15 年度回収量		回収量
商品案内	回収率：62%	4,380t
共同購入	紙飲料パック	86,830kg
	卵パック	34,890kg
	仕分け袋	44,070kg
店舗	紙飲料パック	21,010kg
	卵パック	8,920kg
	ペットボトル	22,040kg
	ビン	57,540kg
	缶	5,030kg
	食品トレー	40,400kg
	乾電池類	1,350kg
共同購入+店舗	発泡スチロール	79,240kg

マイバッグの持参率は88.5%となりました。レジ袋は約576万枚削減されていることとなります。毎年多くの新しい組合員さんを迎えるなか、マイバッグ持参運動を地道に続けていることが高い持参率の維持につながっています。

●お店では「魚のアラ」をリサイクルしています。岸和田市にある小島養殖漁業生産組合で魚粉と魚油を製造。飼料などに使われています。

1年間で108tほどがリサイクルされています。

●お店で調理に使った廃油は今年も約16,000リットル（200リットルドラム缶80本）のバイオディーゼル燃料にリサイクルされています。

食品リサイクル

7月から、つるみ店、東中浜店で開始した食品のリサイクル（飼料化）は、1月から東都島店でも行い、3月までに約31トンとなりました。既に実施している忍ヶ丘店の分（肥料化）約14トンを合わせると今年度の合計で約45トンがリサイクルされています。



食品リサイクル工場
(大本フーズリサイクルセンター)

食品の
リサイクル
45トン

フードバンク活動への商品提供

物流センターではフードバンク活動への商品提供をスタートしました。月1回のペースで今年度は12回実施し、10,262kgの提供を行いました。

※フードバンク活動とは「食料銀行」を意味する、社会福祉活動です。包装の傷みなどで、品質に問題がないにもかかわらず市場で流通出来なくなるなど、さまざまな理由で処分されてしまう食品を、必要としている人や団体に無償で提供する活動です。



FOOD BANK
KANSAI

フードバンク
活動への商品提供
10,262
kg



1日エコライフ 身近にできることから...

今回参加人数
2,992名
(組合員+職員)
CO2削減量
1,722kg

=

杉の木が1年間に
吸収するCO2で換算
約123本分

※林野庁の資料によると、杉が1年間で吸収するCO2の量は約14kgです。

組合員のみなさんはどんな「エコ」を心掛けておられますか？
エアコンの温度管理、買物袋持参、ゴミの分別やリサイクル、車は使わず徒歩や自転車での外出。毎日の暮らしの中で環境を守る取り組みにつながることはたくさんあります。組合員さんには毎年、OCRアンケートなどを通じて、身近にできることにチャレンジして頂いています。



エア
みんぽでエコ!

1日エコチャレンジに取り組んだ方の 感想・メッセージをご紹介します

帰宅後すぐに
エアコンをつけずに、
冷ためのシャワーで汗を
取り、身体を冷やす
ようにしました。

エアコンの
室外機にスタレを
立てかけて、日陰を
つくりました。

楽しかった。
意外と家族みんなが
協力してくれました。

冷蔵庫の
温度設定は今まで
チェックしたことが無かった。
季節に応じて設定は
かえていこうと思う。

冷房の設定は
27℃しか無理でした。
28℃にすると息子の
プーイングがあり、
設定温度は家族の
協力が必要です。

南向き玄関に
大きな日除けをして
影をついたり、西の窓は、
半分は雨戸をして半分を
すだれをかけて窓からの
熱を遮り、風を室内に
入れるようにしました。

ほんの少しですが、
毎日の積み重ねが
大事なことに気付けた
ような気がしました。

リビングの風が
流れるところに娘が
風鈴をかけてくれました。
やあらかい音色が涼を
感じます。家族で楽しく
エコライフを続け
たいです。

●●● 地域や行政とともに

2015年6月22日、7月7日ライトダウンキャンペーン
今年も全店舗で「ライトダウンキャンペーン」を実施、
大阪市内の店舗では大阪市環境局、なにわエコ会議との
「レジ袋削減協定・店頭イベント」、枚方では
地球温暖化対策協議会からの要請を受け
「打ち水作戦」などにも取り組み、
地域への環境活動のアピールに努めました。



11月14日
つるみ店
レジ袋削減
キャンペーン

地域、行政と一体となった環境イベント

10月10日
ガレージセール・
イン・
OSAKA TOWN



「ガレージセール・イン・OSAKA TOWN」
「環境フェスタ in 交野」「スミノエコロジー」
「寝屋川市エコフェスタ」など、
地域、行政と一体となった
環境イベントに参加しました。

11月15日
寝屋川市
エコフェスタ



3月13日
環境フェスタ
in 交野 2016



11月15日
スミノエコロジー



6月4日～5日 NO2 自主測定

大気汚染への関心を高める
ために毎年取り組んでいる
NO2 自主測定には68地域
349名の参加が
ありました。

68地域
349名
参加



省エネチャレンジノート

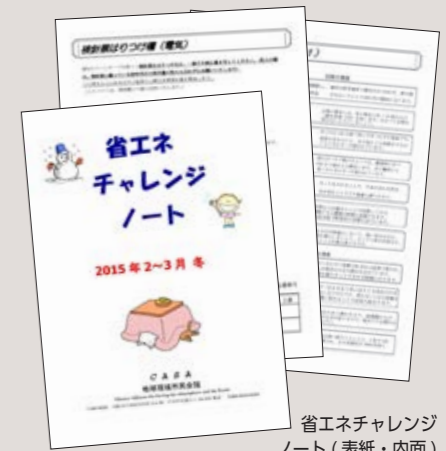
地球温暖化防止に身近なところから取り組む夏冬
実施の省エネチャレンジノート（協力：特定非営
利活動法人、地球環境市民会議＝CASA）に、の
べ62名が参加しました。また、家電製品等の省
エネ具合が消費者に分かりやすく掲示されている
かを調べる「省エネラベル」調査に20名が参加し
ました。

6月7日 身近な水環境一斉調査

大阪市内では「身近な水環境一斉調査」に18地
域21ヶ所76名が参加しました。



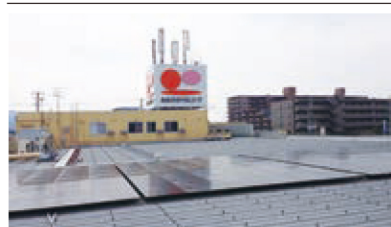
18地域
76名
参加



省エネチャレンジ
ノート（表紙・内面）



自分たちで 協同発電所を作ろう



組合員さんの中から「自分たちで協同発電所を作ろう」と立ち上がったNPO法人「リアルにブルーアースおおさか」。

2014年1月、なごお店の屋根に20kWの太陽光発電パネルが設置されました。

1年間で24,617kWh発電し、47トンのCO₂排出削減につながりました。

おおさかパルコープ 概要 2016年3月20日現在

名称	生活協同組合おおさかパルコープ	共同購入支所数	10カ所
設立	1975年11月17日	店舗数	9店舗
職員数	フル職員651人、属託職員65人、パート職員1,392人	組合員会館	4カ所
供給高	560億円	組合員集会所	8カ所
組合員数	40.6万人		



大阪市都島区東野田町 1-5-26
 TEL 06-6242-0900
<http://www.palcoop.or.jp/>

2016年5月発行